

I 教育理念・目的・育成人材像			
中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
理念・目的・育成人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・目的・育成人材像は定められているか ・育成人材像は専門分野に関連する業界等のニーズに適合しているか ・理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか ・社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか 	2.1→2.1	<p>新カリキュラムのスタート時から、理念に基づいて教育活動に取り組んできている。</p> <p>閉校の予定から学校存続へと一転したことは、これまでの学修成果、教育活動などから、学校の特色として存在意義を認めてもらえたと受け止められ、特徴ある教育活動に積極的に取り組むことは社会の要請でもあると再認識し教育活動に取り組んできた。しかし、学生の学習到達度が低くなりつつある現状が見えてきている。評価結果では、前年比の平均値は変化ないが、“理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか” “社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか” の項目に於いて努力が必要との回答が多く、教育活動に取り組んではきたものの納得できる結果が得られない、社会のニーズの変化に対応できていないのではないかと、あらためて理念・目的・育成人材像については、見直しが必要であることが課題で、教員会議で検討を重ね始めている。</p>

II 学校運営			
中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
運営方針 事業計画 運営組織 人事・給与制度 意思決定システム 情報システム	<ul style="list-style-type: none"> ・理念に沿った運営方針を定めているか ・理念等を達成するための事業計画を定めているか ・設置法人は組織運営を適切に行っているか ・学校運営のための組織を整備しているか 	1.7→1.8	<p>学校運営に関しては、前年比の平均値が僅かではあるが上昇している。それは小項目の下線の内容で進んでいると回答した評価が多かったためと思われる。まだ先のことではあるが、令和 9 年 4 月から設置者の変更に伴い学校名は変わるが、それ以外は、学校の教育に関することや職員の処遇など変わらないとの報告を受け、人材確保に関しても各領域の担当教員を増やす方向で進められていることも聞き、学校運営に携わる職員としては事業計画に沿って適宜見直し、修正を行</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>人事・給与に関する制度を整備しているか</u> ・ 意思決定システムを整備しているか ・ 情報システム化に取り組み業務の効率化を図っているか 	<p>い、学校運営のための組織を整備していくことを継続している。</p> <p>しかし一方で、学校運営の組織整備に関しては、努力が必要と回答している結果に変化が見られていない。今後の（3年後）学校組織が一部変化することを見据え、現状のままで良しとするのではなく、会議のあり方や、役割分担等の課題があることが含まれていると思われる。</p> <p>情報システムでは、昨年に引き続き、情報ネットワークの設備状況、パソコン台数に関して残されている課題はあるが、タイムリーに情報が提供でき、業務の効率化が図れるよう努力している。システムのメンテナンス及びセキュリティ管理においては、必要に応じて適切に行い、学生指導においても活用している。</p>
--	---	---

III 教育活動

中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
目標の設定 教育方法・評価等 成績評価・単位認定等 資格 免許の取得の指導体制 教員・教員組織	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか ・ 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか ・ 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか ・ 教育課程について外部の意見を反映しているか ・ キャリア教育を実施しているか ・ 授業評価を実施する体制を整備しているか ・ 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか ・ 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか 	2.0→2.1	<p>前年比の平均値は上昇しているが、中項目「目標の設定」「教育方法・評価等」「成績評価・単位認定等」において進んでいるとの回答は減少、そして、「教員・教員組織」において努力が必要との回答が増えている。（+1）これらの中項目に関しては、年々少しずつ「進んでいる」との回答が減少している。今年初めて新カリキュラムで育てた学生が卒業するが、求めているものと学生の現状に乖離があり、学科及び実習における成績評価の基準を適切に運営するための検討をせざるを得ない状況になっており、多くの課題を抱えているためだと考えられる。昨年に引き続き、再度諸規定の見直しを行い学生のレディネスを考え、まず実習時間が短いことが、効果的な体験学習の妨げになっている大きな要因と考え、9期生の実習より計画を変更している。講義においても、学生の到達度の低い部分の強化と自ら考えて行動できる教育を目指し、科目時間数の増減と新しい科目を設定した。合同実習施設会議では、各々の領域で、社会や関連業界のニーズに沿</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の資質向上への取り組みを行っているか ・教員の組織体制を整備しているか 	<p>った学生の育成や理念に沿った教育課程を編成するために多くの示唆をいただいた。今後、それらを加味して学校の特色として存在意義を認めていただいたことに応えていきたいと考えている。</p> <p>「教員・教員組織」の項目は、全体としては普通の回答がほとんどであるが、3つの小項目中、“教員の組織体制を整備しているか”に対し進んでいるとの回答がなく、学科毎の授業科目担当間の連携、授業内容・教育方法の改善に関する取り組みの不足や、教員の専門性を向上させるために研修等の参加が思うようにできなかったことが影響しているのではないかと思われる。今後、少しは教員の組織体制として余裕ができるとするならば、教員組織体制を整備し、授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取り組みを強化していきたい。</p>
--	---	--

IV学修成果			
中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
就職率 資格・免許の取得率 卒業生の社会的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか ・資格・免許取得率の向上が図られているか ・卒業生の社会的評価を把握しているか 	2.1→1.9	<p>前年比の平均値は今年初めて減少している。それは、進んでいるとの回答が普通の解答へ移行したため、評価が低下しているとは判断し難い。例年、管理者が、就職や社会的評価に関して就職活動の成果に関する情報や推移を正確に把握し、学生の就職活動支援に活用している。卒業生の社会的評価の把握は実習関連施設との連携もあり、実態を把握できている。実習病棟で学生指導を行っている際に卒業生が現場で活躍している姿を目にした時は、教育の成果が少なからず感じられる瞬間で、社会的評価を把握する機会になっている。</p> <p>また、国家試験合格に向けて、2名の学習支援を中心に免許取得率を向上させるために学習計画を立て、特別授業の補完や模擬試験に取り組ませている。</p>

V学生支援			
中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
就職等進路 中途退学への対応 学生相談 学生生活 保護者との連携 卒業生・社会人	<ul style="list-style-type: none"> ・就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか ・退学率の低減が図られているか ・学生相談に関する体制を整備しているか ・学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか ・学生の健康管理を行う体制を整備しているか ・保護者との連携体制を構築しているか ・卒業生への支援体制を整備しているか ・産業連携による卒後の再教育プログラムの開発実施に取り組んでいるか ・社会人にニーズを踏まえた教育環境を整備しているか 	1.9→1.8	<p>全体的に進んでいるという回答から普通に移行している回答が増え、努力が必要との回答が増えたことで、前年度より平均値が低下している。</p> <p>今年、退学者は11名おり、他懲戒に値する学生もいた。要因としては、学習到達度に関連しての（複数の未修得科目・未修得単位）進路変更が最も多い。また、情報の保護と記録の取り扱いにおいて規定に反し、停学、訓告に至っている。</p> <p>学校は、学生が抱える様々な問題を早期に把握するためにまずは学習支援を中心に関わり、教務主任、副学校長と連携し、保護者とも連絡を取り問題解決に適切に対応している。そして何より入学時学生が抱えている夢や希望を損なうことがないように学生生活、学習内容の把握には努めている。学習支援、縦割りでの活動を今後も整備しながら中途退学の低減に向けた学内の連携体制を強化し、心理面、学習面の問題解決に今後も適切に対応していくことを継続する。</p>

VI教育環境			
中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
施設・設備等 学外実習・インターシップ等 防災・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか ・学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか ・防災に対する組織体制を整備し適切に運用しているか ・学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか 	1.9→1.5	<p>この項目に関しては、進んでいるとの回答はほんの僅かで、努力が必要との回答が増えている。一番大きな要因としては、施設・設備に関して、老朽化等に備えた適切なメンテナンス体制が整備されているかということで、施設の改築・改修、設備の更新の計画が策定されつつあるという点にあると思われる。</p> <p>少しずつ縦割り学習も活用されてきており、主体的に校外学習を実施し、学生の社会性を育むことができている。またインターネット環境の整備は継続され、昨年よりもできるだけ学生の学習効果に影響がな</p>

			いよう取り組んでいる。学校行事については、今後さらに、学生が企画段階から積極的に参画し学生相互の連帯感が深まっていくように教育環境の整備を継続する。
--	--	--	--

VII学生の募集と受け入れ

中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
学生募集活動 入学選考 学納金	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校等接続する教育機関に対する情報に取り組んでいるか ・学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか ・入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか ・入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか ・経費内容に対応し学納金を算定しているか ・入学辞退者に対して授業料等について適正な取り扱いを行っているか 	1.9→2.0	<p>今年は、学生募集において、高等学校等における進学説明会に参加し、教育活動の情報提供を積極的に行い、適切な時期に願書の受付を開始し、志願者からの入学相談に適切に対応できている。オープンキャンパスの実施により、教育活動の内容を直接紹介、体験できる機会となり、適切かつ効果的な募集活動は行えた。そのため、前年比の平均値が上昇していると思われる。しかし、募集人数以上の志願者は望めず、入学選考にあたっては、入試判定会議で最終検討を実施し、受験者全員が入学することになっている。</p> <p>これまでの入学選考基準と同様にはできなかつた背景があり、こんご、入学者の傾向等を把握し、授業方法の改善などには活用していく必要がある。</p>

VIII財務

中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
財務基盤 予算・収支計画 監査 財務情報の公開	<ul style="list-style-type: none"> ・学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか ・学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか ・教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか 	1.9→1.8	<p>前年比の平均値は僅かに減少している。それは、昨年に引き続き今年の入学者も定員割れしており、収入と支出のバランスがとれにくくなっており、財政基盤が不安定になりつつあることが大きく影響していると思われる。</p> <p>学校運営の主な収入は、学生から徴収する学納金であることから、よりよい教育の運営と共に、無駄な経費は省き収支バランスをホームペ</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・予算及び計画に基づき適正に執行管理を実施しているか ・市立学校及び計画に基づき適切に監査を実施しているか ・市立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し適切に運用しているか 		<p>ージを閲覧し確認しながら、コスト管理の必要がある。</p>
--	--	--	----------------------------------

IX法令等の遵守

中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
関係法令、設備基準等の遵守 個人情報保護 学校評価 教育情報の公開	<ul style="list-style-type: none"> ・法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか ・学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか ・自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか ・自己評価結果を公表しているか ・学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか ・学校関係者評価結果を公表しているか ・教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか 	<p>2.3→2.1</p>	<p>この項目では、進んでいるとの回答が減少しその分はほぼ努力が必要な回答に移行している点が昨年と大きく変化したところである。</p> <p>中項目の「学校評価」「教育情報の公開」では、怠ることなく取り組んでいる。しかし、適正な学校運営を行っているにも関わらず、個人情報保護に関して、懲戒に値する状況があり、個人情報保護の方針と対策を整備し、学生、教員にも個人情報管理に関する啓発及び教育を実施している。</p> <p>学校が保有している個人情報に関しては漏洩や紛失がないように適切に運用している。</p> <p>今後、社会（関連施設）の信頼を失うことがないように、関係法令の周知徹底を図り啓発教育を実施していく必要がある。</p>

X社会貢献・地域貢献

中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
社会貢献・地域貢献 ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか 		<p>前年比の平均値は全く変化がない。</p> <p>地域・在宅看護論実習で初めて社会を体験し、＜人々が支え合って生</p>

	・学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	1.3=1.3	<p>きることの大切さ>について多くの気づきがあり学生なりの理解ができています。今後それらの学びを社会に還元し、どこまで貢献できるかは教育の方法、看護活動の支援の仕方にかかっている。意義のある貢献が行えるよう教育的関わりを継続していく。</p> <p>縦割り活動の中で、学生自身がボランティア活動として少しずつ積極的な姿勢が見られるようになっている。まだボランティア活動というには及んでいないかもしれないが、もっと地域社会に広い視野を向けていけるよう支援していく。</p>
--	----------------------------------	---------	---